

生きる力

SHINGON

特集

お彼岸に亡き人に祈る

より楽しく、
より読みやすく

一部誌面を
更新しました

生きる力 SHINGON

Vol. 122

智山 寺院探訪

雄翔山 大願寺



ひが 比嘉 しょうかい 宥海 住職
ご住職

写真提供／大願寺

みんなのための みんなのお寺

沖縄本島北部にある安須森（あすもり）でのご信徒との入峰修行の様子。12年前に高尾山薬王院さまのご指導を仰いだ後、毎年11月に行っており、多くのご信徒が集まる。ご住職と一緒に体験する行事や法要が多いのも大願寺の魅力の一つである。

みんなのためのみんなのお寺とは

沖縄県浦添市の住宅街の中に民家を改装したお寺があります。

そこは「みんなのためのみんなのお寺」を標榜している、雄翔山大願寺です。大願寺は本宗のなかで最南端にある寺院です。標榜のとおりご信徒の皆さまと一から地域に根ざしたお寺を作られていく比嘉宥海ご住職のお話を伺いに沖縄へと向かいました。到着すると、ちょうど毎月の定例行事であるお護摩が始まるところでしたので早々に挨拶をすませ、ご信徒の皆さまと一緒に参拝させていただきました。続々と参拝の方がお越しになり、始まる頃には民家を改装した二間続きの外陣は参拝者でいっぱいになりました。

五月中旬にも関わらず、空港を降りたら三十℃の気温と沖縄独特の湿度、汗を拭いながら目的地へ向かいました。そこには檀家制度のない沖縄の地で一からお寺を始め、ご信徒や地域の皆さまに愛されるお寺がありました。ご住職の掲げる「みんなのためのみんなのお寺」とおりの素晴らしいお寺でした。



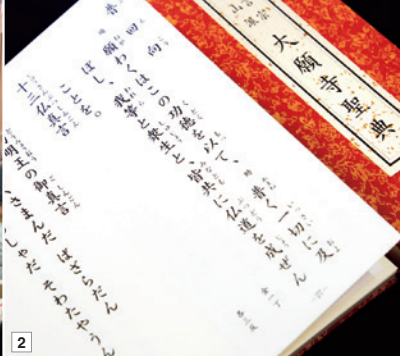
大願寺外観

雄翔山 大願寺
〒901-2114
沖縄県浦添市安波茶1-25-9
TEL : 098-876-0135
ホームページ :





1



2



3



4



5



6

- 1 毎年2月に行われている節分会の様子。行事になるとお寺に入りきれないほどの人が集まる。 写真提供／大願寺
- 2 ご信徒の皆さまと法要を行うために作られた『大願寺聖典』。祈願も供養もできるようにさまざまなお経が書かれている。
- 3 大願寺には老若男女が県内各地から訪れる。
- 4 民家を改装した本堂。お護摩が始まるころには隣の部屋までご信徒でいっぱい。すべての人にお護摩の様子が見えるよ

- うにカメラを使うなど工夫がされている。
- 5 お護摩の片付けを手伝うご信徒の皆さま。法要に参加するためだけにお寺に来るのではなく、ご信徒の皆さまも積極的にお寺に関わっている。
- 6 大願寺のご本尊、不動明王さま。平成8年に現在地に移転し、宮坂有洪師に開眼していただいた。開眼されて30年近く、大願寺とご信徒をお守りくださっている。

アパートの一室から始まった宗教活動

また大願寺では節分会や花まつりなどの行事のほかに、沖縄本島北部の安須森でご信徒に向けた入峰修行も行っています。仏教行事だけでなく、ご信徒とのふれあいの行事も大切にしています。

法要を行っています。

もちろん最初からお経を唱えられたり、お護摩の片付けができただけではありません。ご住職が「からお経や仏教について教え、ご信徒の皆さまとの関係を作ってきたからにはかなりません。沖縄には僧侶も少ないので、僧侶だけでなくみんなで祈願や供養の法要を行っています。」

「もちろん最初からお経を唱えられたり、お護摩の片付けができたわけではありませ

た。参列者と一緒にお唱えする『大願寺聖典』という経本を開くと「錫杖経」、「観音経」と続き、我々僧侶向けかと思ってお経を唱えたところ、参拝の皆さまの大きな声と読経の早さに大変驚きました。その後、お不動さまが祀られている内陣を参拝し、比嘉ご住職に身体を加持していただいて法要を終えました。法要後に取材をしているかたわら、ご信徒の皆さまが護摩壇や内陣の掃除・莊嚴をしている姿に「みんなのためのみんなのお寺」の一面を見ることができました。

沖縄は葬儀や法要は行いますが、元から檀家制度はありません。そのため家の仏壇には、さまざまな宗派の位牌が並び、さらには民間宗教と仏教が混ざり合って存在しています。独自の先祖崇拝の考えを持ち、既成の宗教には閉鎖的な面もあります。

今ではたくさんのご信徒がお越しになる大願寺ですが、今から

三十九年前の昭和六十一年三月、那覇市のアパートの一室から大願寺は始まりました。病気の方に向けて祈願するなど、人助けから始め、徐々にご信徒が増えてきました。

そんななか、宮坂宥洪師（現智山伝法院院長）との出会いもあり、真言宗智山派の僧侶となったのが平成五年。伝統仏教の教えに沿った運営に切り替えたところ、従来の沖縄の宗教感覚との差に違和感を覚えるご信徒も出てきてしまい、半数近くのご信徒が離れてしまいました。お寺の運営に困窮する時期もありましたが、正しい仏教を伝えたいという信念を貫き、活動を続けました。

沖縄は本宗寺院の数が少ないので、大勢の僧侶と一緒に法要することができません。ですからご信徒の皆さまも参加して法要を営みます。そのため、一緒に法要を行うための経本を作成し、仏教書籍の貸し出しやお寺だよりの発行、団参や行事を行い、ご信徒の皆さまと一緒にみんなのお寺を作っていました。今では二代目、三代目となるご信徒も増えてきて本当に家族みたいだご住職は語ってくれました。

地域に根づいたお寺を目指して

比嘉ご住職自身は、僧侶になる前にサラリーマンとして働いた経験を活かし、ご信徒へのアドバイスをしたり、お寺以外でも地域のまちづくりや河川の問題に関わり、社会活動にも力を入れています。沖縄の特色として、知り合い、親戚、同郷など横のつながりが強く、人と人のつながりによってご信徒が増えて

きたといえます。今では行事になると県内全域からご信徒が集まるお寺となりました。

檀家制度のない沖縄で一からお寺を始め、伝統仏教を大事にしながらも、ご信徒とともに「みんなのためのみんなのお寺」を信念として、地域に根ざしたお寺づくりに奮闘されるご住職の「ご信徒の皆さまとは、台風など何かあったときにはすぐにお寺に駆けつけてくれる、家族みたいな信頼関係がある」と話すときの優しいお顔が印象的でした。

コロナ禍ではご信徒の皆さまが参拝できないため、お護摩などの法要をオンラインで配信したり、今まで出していた寺だよりの「慈眼」の他に、安心して過ごせるように仏さまの教えをわかりやすく紐解いた「和顔」も発行しました。参拝できないご信徒の皆さまにも寄り添う活動を続けたため、コロナ禍の前と後で、行事の参加者の人数に変化はほとんどなかったそうです。

（智山教化センター所員／船岡芳海 撮影／清水健）



大願寺はまだ駆け出しのお寺ですが、奥様の寂然師と二人三脚で何度も困難を乗り越えて奮闘しています。写真提供／大願寺



（交通アクセス）

- ・那覇空港より車で25分
- ・ゆいレール：浦添前田駅より徒歩25分

今日の法語「^{きやっ か しょう こ}脚下照顧」

法語解説

^{よね だ かいほう}

米田 海芳 (新潟県三条市 安養院中)

揮毫

^{あら い ご とう}

荒井 悟道 (東京都北区 豊榮寺住職)

脚下照顧

この言葉は、外にばかり向いている目を、自分自身の内側へ向けなさいという教えです。

人はともすれば、他人の過ちや世の移ろいに心を奪われ、自らの姿を見失ってしまうものです。

日々の行いを見直し、反省し、自らを律して生きていく。そうした姿勢こそ、人として大切にすべき在り方ではないでしょうか。

うまくいかない日も、心が揺れるときも、自分の今の姿をそっと見つめてみましょう。仏道は、日々の一歩一歩の中にあるのです。



お彼岸に 亡き人に祈る

秋分の日には真西に太陽が沈みます。

古来より、沈みゆく太陽には亡き人が行く浄土を重ねて考えられてきました。

夏の暑さも幾分かやわらぎ、秋の足音が遠くに聞こえてくる秋彼岸。このお彼岸を機会にお墓参りに行かれる方も多くいることでしょう。春秋のお彼岸に限らず、お盆や故人のご命日など、皆さまはどのようなときにお墓参りに行くでしょうか。そして、手を合わせながら何を祈るのでしょうか。

亡き人の安らぎを祈る

亡き人が安らかでありますように――。墓石の汚れを落とし、花を供え、線香に火をともし、ゆるやかに立ちのぼる煙を前に、手を合わせ目を閉じる。そこでは、誰しも亡き人を思い浮かべ、少しでも安らかであることを願うでしょう。

年に二度訪れるお彼岸は、昼と夜の長さが等しくなる春分・秋分の日を中日とした七日間を指します。昼夜の長さが等しいことから、お釈迦さまが説かれた中道（偏らないという考え方）を表す日であり、あの世（彼岸）とこの世（此岸）が一番近くなる日などといった伝えられています。国民の祝日である秋分の日には、祖先をうやまい、亡くなった人を偲ぶ日と定められています。はるか平安時代からお彼岸には先祖の供養が行われてきたとの記録もあります。お彼岸に亡き人を悼む風習は、私たち日本人に古くから根付いたもので



私たちのいのちは、遠い先祖から受け継いだものです。 写真提供／photoAC

す。そのため、このお彼岸を機に私たちはお墓参りをし、亡き人やお先祖さまに祈りを捧げるのです。

このように、お彼岸で亡き人の安らぎを願うのはもちろんですが、お墓参りに訪れる方はこのようにも祈るのではないのでしょうか。「——どうか私たちを見守っていてください」と。

亡き人に幸せを祈る

ある檀信徒の方と「いつお墓参りに行くか」という話をしていたときのことです。その方は「お彼岸やお盆など季節の節目に行くのはもちろんだが、自分が人生の岐路に立ったときにお墓参りに行く」と話していました。結婚をしたとき、子どもを授かったとき、仕事で壁にぶつかったとき、手術で入院をするとき、自分ではどうしようもできない悩みを抱えたとき……。そのようなときに墓前で手を合わせながら亡き人を思い浮かべ、心のなかで相談をするそうです。もちろん、悩みの答えが返ってくるものではありません

が、「大丈夫だよ。私たちが見守っているよ」という声が聞こえてくるような気がするといいます。

自分のいのちは、父母や祖父母はもちろん、はるか遠いご先祖さまから受け継いだものです。そのいのちに対して、祖先たちが見守ってくれているという感覚は、親が子を見守る条件で慈しむことが当然であってほしいと思うように、誰しもが持っている感覚でしょう。だからこそ、私たちが亡き人の安らぎを祈るときに、亡き人も私たちの幸せを願っているという思いが湧いてくるのではないのでしょうか。

仏さまに祈る

亡き人に祈り、祈られるなかで、欠かすことのできない存在が「みなさんが手を合わせるご本尊さま」でしょう。寺院にはさまざまなお仏さまがいらっしゃいますが、そのなかでも本堂や金堂に祀られ、最も尊ばれている仏さまをご本尊さまとお呼びします。ご本尊さまは、寺院で行われる儀式の中心となるだけではなく、常に檀信徒の皆さまを見守っています。私たちが亡き人に祈るときも、ご本尊さまは大いなる慈しみの心で私たちを包んでくださるのです。

祈り、出会う実践

亡き人は、ご本尊さまとともに私たちを見守っています。それを実感するために必要なことはなんでしょうか。それは、自身の行い



お仏壇やお墓で亡き人に祈る。亡き人は私たちの祈りに応え、常に私たちを見守っています。
イラスト／長谷川優

が清らかであるように努めることです。夜空を照らす満月のように、私たちは常に見守られています。しかし、波立った水面には月の姿が映らないように、自分勝手な行いばかりしては大切なものにも気づけません。

そして、このお彼岸において特に意識していただきたいのが六波羅蜜行です。波羅蜜とは、仏教の生まれたインドの古い言葉で「彼岸に到る」という意味です。彼岸、つまりは仏さまの悟りの世界に到達する実践が、この六波羅蜜行です。それは私たちが日々心がけるべき六つの行いであり、それぞれ布施（おしみなく施しをする）、持戒（戒律や教えを守る）、忍辱（厳しさに耐え忍ぶ）、精進（たゆまず励む）、禅定（心を落ち着かせる）、智慧（正しい

ろくはらみつ 六波羅蜜

- 1 布施波羅蜜（おしみなく施しをする）
- 2 持戒波羅蜜（戒律や教えを守る）
- 3 忍辱波羅蜜（厳しさに耐え忍ぶ）
- 4 精進波羅蜜（たゆまず励む）
- 5 禅定波羅蜜（心を落ち着かせる）
- 6 智慧波羅蜜（正しい心を持つ）

六波羅蜜は私たちが日々の暮らしの中で心がけるべき行ないを6つに分けて示したものです。この行ないは功德となって亡き人への供養につながります。

【目 次】

智山寺院探訪「雄翔山 大願寺」	2
今日の法語（米田海芳・荒井悟道）	5
特集 お彼岸に亡き人に祈る	6
よくわかる『智山勤行式』（佐々木大樹）	10
智積院の修行生活（長谷川優）	12
梵字よもやま話（小峰智行）	14
日本の四季を切り取る十七文字（星野高士）	15
十巻章 — 真言宗の教えを紐解く —（駒井信勝）	16
暦のおはなし（上村正健）	18
ごくらくらくご（三遊亭竜楽）	19
知っておきたい 仏事 Q&A	20
読者アンケートから／おしらせ／編集後記	22
真言宗智山派 出版物のご案内	23
寺院建築の心（菊池恭二）	24
総本山の便り	26
自と他の間にある利他（伊藤亜紗）	28
茶の歴史・文化を探る（土居雪松）	29
ビジュアルで読む 秘蔵宝鑑（内藤理恵子）	30
グローバルサウス「インド」の今（山田真美）	31

心を持つ）です。この六波羅蜜行で積んだ功德が亡き人への供養となり、自身の行いを正すことにつながります。

自身の行いは、身体、言葉、心の行いの三つに分けることができます。そして、亡き人やご本尊さまに祈るときには、手を合わせ、お唱えをし、心に想うことが大切です。亡き人に祈るのであれば、手を合わせ、お戒名をお唱えし、お顔を想い浮かべる。ご本尊さまであれば、手を合わせ、ご真言を唱え、お姿を心に感じる。このように、身体、言葉、心

の行いが清らかであれば、亡き人やご先祖さまが私たちとともにあることに自然と気がつくことができるでしょう。

亡き人に祈ることで、亡き人が菩提寺のご本尊さまとともに私たちを見守っていることを実感する。その安らぎに満ちた日々こそが、わたしたちの目標である「生きる力ー仏さまに祈り、仏さまと出会う」となるのです。

（智山教化センター所員 中嶋亮順）

表紙

『暁色に染まる空と紅葉』

岩手県



ミネカエデやナナカマドが、一面紅色の絨毯のように染まることで有名な三ツ石山。本州一早い紅葉の場所といわれることも。三ツ石山の山頂から夜明けの光が漏れはじめ、後光のように岩手山の山体を際立たせてくれた。

p5

『色彩に浮かぶ落葉』

愛知県



紅葉の撮影に、奥三河にあるタカドヤ湿地へ出かけた。紅く染まったモミジが多く、辺りは紅葉まっさかり。日差しが入るとその色鮮やかさは増し、池に落ちた黄葉と水面に映り込むモミジの色彩が、なんとも綺麗だった。

撮影・解説／大島隆義

平成十年十二月十六日第三種郵便物認可「生きる力SHINGON」第二二二号 令和七年九月一日発行 年四回(六月・九月・十二月・三月の一日) 発行 定価一〇〇円(税込)
発行人／三神栄法 編集／智山教化センター 発行所／〒605-0951 京都市東山区東大路七条下ル東瓦町九六四 総本山智積院内 真言宗智山派宗務庁

智積院会館のご案内

洋室や和洋室など多様なお部屋で快適にお過ごしいただけます
(1泊朝食付 ¥9,000～ 宿泊税・消費税込／夕食別途 ¥4,180～ 消費税込)。※時期により金額が変動することがございます。



和室A



和洋室A

世間の喧騒を離れて、400年前から変わらぬ、朝のお勤めへのご参拝、僧侶による名勝庭園や長谷川等伯一門の国宝の障壁画のご案内など、非日常をぜひご体験ください。



夕食 ¥5,500

※ご宿泊のご予約は、6ヶ月前の1日より開始いたします。



外観

[お問い合わせ](#)

宿坊 智積院会館
電話 075-541-5363

宿坊 智積院会館 HP ▶



ご予約は、お電話または智積院会館 HP から

京都 総本山智積院

〒605-0951 京都市東山区東大路七条下ル東瓦町964
TEL: 075-541-5361 FAX: 075-541-5364

観月会

10月5日(日)、6日(月) 17時より
(参加費5日のみ 千五百円)
5日・6日 六千五百円)



写経のつどい(法話と般若心経写経)
毎月21日 13時より(受付12時より)
於 智積院金堂地下ホール
(納経料千円・要事前申込 定員60名)
智積院阿字観会(真言宗の瞑想)
毎月8日もしくは12日
14時より(受付13時より)
於 智積院旧宝物館
(御志納金千円・要事前申込 定員20名)
※7月より右記のとおり会場および御志納金が変わっております。
詳細はホームページをご確認ください。

東京 総本山智積院別院 真福寺

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-8
TEL: 03-3431-1081 FAX: 03-3431-0203

愛宕薬師ご縁日護摩供法要

9月8日(月) 12時より
10月10日(金) 12時より
11月7日(金) 12時より

やすらぎ寄席

於 本堂(木戸銭二千円)
9月18日(木) 談志一門会
10月16日(木) 三遊亭
11月20日(木) 談志一門会
各日も18時30分より

真福寺阿字観会

9月30日(火) 15時より
10月28日(火) 15時より
11月25日(火) 15時より
於 本堂

(無料・要事前申込・定員30名)

Instagram



総本山智積院



宿坊智積院会館



別院真福寺

Facebook



総本山智積院